

シーンⅢ-14 再エネ水素ステーション導入事業

事業目的

利用段階で二酸化炭素の排出を排出しない水素エネルギーの利活用を推進し、"東北における水素社会の先駆けの地"を目指します。

事業効果

CO₂年削減効果

3 t-CO₂

事業内容

- ①低炭素な水素社会の実現と燃料電池自動車の普及促進を目的に、再生可能エネルギーを活用したスマート水素ステーション(SHS)を導入します。
- ②併せて燃料電池自動車(FCV)を導入し、水素エネルギーの利活用促進に向けた普及啓発活動を行います。
平成27年度事業費 187,763千円 (うち環境税充当額 67,763千円)

スマート水素ステーション(SHS)



1日で150km走行分の水素を製造

燃料電池自動車(FCV)



SHSで約420km走行の充填が可能